
特定震災特例経営強化計画(ダイジェスト版)

(金融機能の強化のための特別措置に関する法律第33条第1項)

2021年6月



目次

1. 経営強化計画の策定にあたって	・・・	1
2. 前経営強化計画の総括	・・・	2
3. 東日本大震災からの復旧・復興の進捗状況	・・・	7
4. 信用供与の円滑化、地域経済の活性化に資する方策	・・・	9
5. 信金中央金庫による優先出資の引受けに係る事項	・・・	14

1. 経営強化計画の策定にあたって

■ はじめに

宮古信用金庫は、岩手県宮古市、釜石市、下閉伊郡全域および上閉伊郡大槌町を事業区域として、地元の中小企業者や住民が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として1927年に設立された協同組織金融機関であります。

2011年3月11日に発生した東日本大震災により、当金庫が主に事業を展開している岩手県宮古市を含む三陸沿岸地域は壊滅的な被害を受け、お取引先の多くが被災し、当金庫においても、津波により3店舗が全壊するなど事業基盤に重大な影響を受けました。

このため、当金庫は、地域の中小規模の事業者および個人のお客様に対して、円滑な信用供与の実施に努め、地域の復旧・復興に向けて継続的に貢献していくため、金融機能強化法の特定震災特例協同組織金融機関として信用金庫の中央金融機関である信金中央金庫を通じて資本支援の要請を行い、2012年2月に100億円の資本支援を受けました。

当金庫の事業区域では、震災から10年が経過する中、地域のインフラは震災以前の状態まで回復しつつありますが、地域の事業活動は、震災により失った販路に代わる新たな販路の開拓などが遅れており、震災前までに復旧したといいがたい状況にあります。

当金庫は、今後も引き続き、地域金融機関としての社会的使命を果たし、地域の復興・創生および地域経済の活性化に向けた取組みを強力に推し進めるため、今般、新たな経営強化計画を策定し、円滑な金融仲介機能を発揮するとともに、役職員一丸となって、お客様や地域が抱える課題の解決に向けて尽力してまいります。

■ 経営強化計画の実施期間

2021年4月から2026年3月まで(5年間)

2-1. 前経営強化計画の総括

地域の復興に向けた支援態勢等の強化

- 山田支店の新築・再開
- 「みやしん山田相談プラザ」の開設
- 田老支店の移転・再開
- 相談プラザ(駅前支店、山田支店)にて休日住宅ローン相談会の開催
- 本店における休日住宅ローン相談会の開催
- 主なプロパー融資商品の取扱実績(2021年3月末までの累積)

商品名	件数	金額(百万円)
みやしん絆	404	1,174
みやしん陸中復興	26	159

商品名	件数	金額(百万円)
釜石商工会議所メンバーズローン	14	29
住宅ローン「復興」	299	4,067

- 外部機関と連携した融資商品等の取扱実績(2021年3月末までの累積)
 - (公財)日本財団と連携した利子補給型融資商品:333件/7,597百万円
 - 中小企業向け復興支援ファンド「しんきんの絆」の活用:4件/260百万円

2-2. 前経営強化計画の総括

販路開拓・拡大等支援の取組み

- 信用金庫業界の全国ネットワークを活用して開催されるビジネスフェアや個別商談会等への出展案内
 - 「ビジネスマッチ東北」への参加
 - “よい仕事おこし”フェアへの参加
- 「みやしんNextとっておきセット」の企画等による販売促進支援

創業・新事業開拓支援の取組み

- 外部機関との連携強化による、専門的な知見、ノウハウおよび機能の積極的な活用
- 信用保証協会の専門家派遣事業を活用した支援の実施
- 「いわて起業家育成資金」の活用と創業計画書の策定支援
- 「わがまち基金」プロジェクトによる利子補給制度融資および債務保証の実施

事業承継支援の取組み

- 信金キャピタル(株)および(株)日本M&Aセンターと締結した「M&A業務協定」に基づく支援の実施
- M&Aマッチングサイト「TRANBI」の活用促進
- 「みやしんNext」会員向けに外部専門家によるセミナー等を開催し、中小企業の後継者育成

2-3. 前経営強化計画の総括

経営改善・事業再生支援の取組み

- 適切な指導・助言および経営課題等解決のための最適な施策の提案
- よろず支援拠点合同相談会の定期開催
- 岩手県知財金融推進コンソーシアムへの参画
- 外部機関から講師を招聘した研修等を開催し、職員のノウハウ養成
- 岩手県産業復興相談センターと連携した事業再生計画の策定支援実施
- 主な外部機関の活用実績(2021年3月末までの実績)

産業復興機構等活用実績	70件
岩手産業復興機構	24件
(株)東日本大震災事業者再生支援機構	46件

事業再生支援ファンド活用実績	6件
復興支援ファンド「しんきんの絆」	4件
(公財)日本中小企業福祉事業財団	2件

地方創生に向けた支援の取組み

- 「宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略市民推進委員会」に参画
- 宮古市および山田町と地方創生に関する連携協定を締結
- 宮古商工会議所および釜石商工会議所と産業振興に関する連携協定を締結
- 「子育て応援!!教育ローン」および「子育て応援!!無担保住宅ローン」の取扱開始
- 宮古市に対して利用提案した、信金中央金庫が提供する地域創生推進スキーム「SCBふるさと応援団」への採用

2-4. 前経営強化計画の総括

被災者への信用供与の状況

- 東日本大震災以降、新たに13種類のローン商品の取扱いを開始
- 被災者向け新規融資、約定弁済の一時停止および貸付条件の変更等への柔軟な対応

＜被災者向け新規融資の実行状況＞

(単位:先、百万円)

	震災以降累計		うち条件変更先に対する新規融資	
	先数	金額	先数	金額
事業性ローン	1,682	21,857	530	7,750
うち運転資金	1,248	16,032	425	5,998
うち設備資金	434	5,824	105	1,752
住宅ローン	516	5,815	0	0
その他	189	310	1	2
合計	2,387	27,982	531	7,753

2021年3月末までの累計

＜主な融資商品の取扱状況＞

(単位:件、百万円)

商品名	件数	取扱実績
みやしん絆(プロパー)	404	1,174
住宅ローン「復興」(プロパー)	299	4,067
岩手県中小企業東日本大震災復興資金(協会保証付)	917	12,415
みやしん無担保住宅ローン(保証会社保証付)	191	1,059

2021年3月末までの累計

＜東日本大震災以降の条件変更実績＞

(単位:先、百万円)

	震災以降累計	
	先数	金額
事業性ローン	229	11,420
住宅ローン	51	611
その他	39	238
合計	319	12,270

2021年3月末までの累計

2-5. 前経営強化計画の総括

決算の概要

前経営強化計画期間中における決算の概要は、以下のとおりです。

<預貸金等の推移>

(単位:百万円)

	2011/3期 (震災直後)	2017/3期	2018/3期	2019/3期	2020/3期	2021/3期
預金積金	59,167	72,651	71,901	69,119	66,167	69,680
貸出金	30,650	30,217	29,531	30,032	27,349	29,748
中小企業向け	18,281	16,346	14,962	15,289	13,510	14,899
有価証券	9,990	16,698	17,409	17,470	19,674	22,206

<損益等の推移>

(単位:百万円、%)

	2016/3期	2017/3期	2018/3期	2019/3期	2020/3期	2021/3期
業務純益	268	239	168	227	179	84
コア業務純益	245	226	161	187	141	134
臨時損益	138	62	49	▲12	▲14	14
不良債権処理額	▲55			▲54		
経常利益	406	301	217	216	165	98
特別損益	▲18	16	0	▲2	5	4
当期純利益	383	315	209	205	170	96
自己資本比率	38.57	39.17	41.33	40.42	40.90	42.28

3-1. 東日本大震災からの復旧・復興の進捗状況

交通インフラについて、2019年3月には三陸鉄道リアス線が全線で運行を再開しております。また、三陸沿岸の縦貫軸および内陸と沿岸部を結ぶ高規格幹線道路等である「復興道路」、内陸部と沿岸部の各都市を結ぶ横断軸等の「復興支援道路」および沿岸部の防災拠点等へアクセスする「復興関連道路」の整備は大きく進んでおり、復興へ向けた物流や人的交流の促進が期待される等、震災から10年が経ち、基盤復興に向けた取り組みは最終的な段階を迎えております。

<復興道路の事業中箇所の供用延長>

路線名	事業化延長 [計画延長] (km)	供用中		供用中+工事中	
		延長 (km)	率(%)※	延長 (km)	率(%)※
三陸沿岸道路 【復興道路】	213 [213]	182	85%	213	100%
東北横断自動車道 釜石秋田線 【復興支援道路】	80 [80]	80	100%	80	100%
宮古盛岡横断道路 【復興支援道路】	66 [100]	66	100%	66	100%
合計	359 [393]	328	91%	359	100%

出所:岩手県 公表資料(2021年3月31日現在)

※ 率(%)は、事業化延長に対する割合

<前計画中の主な供用開始路線>

年月日	路線(区間)	延長
2018年1月26日	三陸沿岸道路(田老真崎海岸～岩泉龍泉洞)	6.0km
8月11日	三陸沿岸道路(吉浜～釜石南)	14.0km
2019年1月12日	三陸沿岸道路(大槌～山田南)	8.0km
3月9日	東北横断自動車道(釜石～釜石仙人峠)	6.0km
3月30日	宮古盛岡横断道路(宮古中央～宮古根市)	3.4km
6月22日	三陸沿岸道路(釜石北～大槌)	4.8km
12月8日	宮古盛岡横断道路(田ノ沢～手代森)	3.4km
2020年3月1日	三陸沿岸道路(久慈北～侍浜)	7.4km
2021年3月28日	宮古盛岡横断道路(墓目～腹帯他2区間)	21.0km

出所:岩手県 公表資料(2021年3月31日現在)

3-2. 東日本大震災からの復旧・復興の進捗状況

応急仮設住宅等入居者数は、ピークであった2011年10月には43,738人いたものの、2020年12月に計画されていた災害公営住宅がすべて整備されたことにより、応急仮設住宅等への入居者はいなくなっております。

まちづくり(面整備)事業についても、計画されていた全地区、全区画の整備が完了しております。

< 応急仮設住宅およびみなし仮設住宅の被災者の状況 >

(単位: 戸、人)

	応急仮設住宅		みなし仮設住宅		応急仮設等合計	
	戸数	人数	戸数	人数	戸数	人数
釜石市	0	0	0	0	0	0
大槌町	0	0	0	0	0	0
山田町	0	0	0	0	0	0
宮古市	0	0	0	0	0	0
岩泉町	0	0	0	0	0	0
田野畑村	0	0	0	0	0	0
普代村	0	0	0	0	0	0
沿岸計	0	0	0	0	0	0
内陸計	0	0	0	0	0	0
県内計	0	0	0	0	0	0

出所: 岩手県 公表資料(2021年3月31日現在)

< まちづくり(面整備)事業の実施状況 >

	都市再生区画整備事業		防災集団移転促進事業		津波復興拠点整備事業		漁業集落防災機能強化事業		合計	
	地区数	区画数	地区数	区画数	地区数	区画数	地区数	区画数	地区数	区画数
事業対象	7市町村		7市町村		6市町		11市町村		12市町村	
工事着手	19	4,911	88	2,090	10		41	471	158	7,472
工事完了	19		88		10		41		158	
全部完了	19	4,911	88	2,090	10		41	471	158	7,472
一部完了	-		-		-		-		-	
工事着手割合	100%	100%	100%	100%	100%		100%	100%	100%	100%
完了割合	100%	100%	100%	100%	100%		100%	100%	100%	100%

出所: 岩手県 公表資料(2021年3月31日現在)

4-1. 信用供与の円滑化、地域経済の活性化に資する方策

地域の復興に向けた支援態勢等の強化

- 相談機能・顧客支援機能に係る体制の強化
- コンサルティング機能等を発揮できる人材の育成

震災後、仮店舗で営業していた山田支店、田老支店が移転・開設し、震災に伴う店舗の統合・移転は完了しております。今後も、お客様との重要な接点である営業店のあり方を検証し、お客様のニーズにきめ細かく対応していける店舗態勢を構築してまいります。

また、各種研修やOJTを通じて、職員のノウハウ向上を図ってまいります。



みやしん山田相談プラザ



田老支店

<当金庫の店舗配置(2021年3月末現在)>



4-2. 信用供与の円滑化、地域経済の活性化に資する方策

担保または保証に過度に依存しない融資の促進

- 無担保・無保証ローンの取扱い
- 信用保証協会保証付融資の活用
- 事業性評価にもとづく融資の促進
- 流動資産担保融資保証制度(ABL保証)の活用
- 「経営者保証に関するガイドライン」に基づく適切な融資の促進

復興支援関連融資商品等の提供・推進

- 復興・創生の各段階に応じた融資商品の提供や既存商品の見直しの検討
- 外部機関と連携した融資商品等の活用
 - (公財)日本財団と連携した融資商品等の活用
 - ・利子補給型融資商品
 - ・信用補完制度
 - ・「民間住宅再建加速化支援パイロット事業」による建設事業者向け支援
 - 信金中央金庫および信金キャピタル株との共同出資による中小企業向けファンドの活用
 - ・復興支援ファンド「しんきんの絆」
 - ・創業・育成&成長支援ファンド「しんきんの翼」
 - ・新型コロナウイルス対策支援ファンド「しんきんの礎」

4-3. 信用供与の円滑化、地域経済の活性化に資する方策

販路開拓・拡大等支援の取組み

- 信用金庫業界および信金中央金庫のネットワークを活用した販路開拓支援
- ビジネスフェアや個別商談会等への出展機会の紹介・提供
- リモートでの商談機会の提供および支援の実施
- 三陸沿岸の信用金庫と連携した販路開拓支援

創業・新事業開拓支援の取組み

- 経営相談、指導・助言、セミナーの開催および経営情報の提供
- 外部機関との連携・協力関係の構築
 - 岩手県信用保証協会および商工会議所等との連携
 - 岩手県の「いわて起業家育成資金」の活用
 - (公財)日本財団の「わがまち基金プロジェクト」を通じた利子補給制度融資や借入債務の保証
 - 創業・育成&成長支援ファンド「しんきんの翼」の活用
- 地方公共団体等と連携し、宮古市中心市街地活性化のための新規出店促進策の実施

4-4. 信用供与の円滑化、地域経済の活性化に資する方策

経営改善支援の取組み

- 定期的な営業活動等を通じた経営実態の把握および経営改善に向けた継続的な指導・助言
- 「経営改善計画」の策定支援
- 外部機関等の専門的な知見、ノウハウおよび機能の活用
(連携している外部機関) 岩手県中小企業再生支援協議会、(独)中小企業基盤整備機構、
岩手産業復興機構、いわて企業支援ネットワーク、
いわて中小企業支援プラットフォーム
- 経営改善にかかる専担部署として総合支援部に経営相談課を新設し、より深度ある支援を実施

事業再生支援の取組み

- 中小企業再生支援協議会の活用
- DDS等による金融支援
- 産業復興機構等の活用
 - 岩手産業復興機構、(株)東日本大震災事業者再生支援機構、(株)地域経済活性化支援機構
- 事業再生支援ファンド等の活用
 - 復興支援ファンド「しんきんの絆」、(公財)日本中小企業福祉事業団
- 自然災害による被災者の債務整理に関するガイドラインにもとづく債務整理に係る対応

4-5. 信用供与の円滑化、地域経済の活性化に資する方策

事業承継支援の取組み

- 営業店と本部が一体となった相談対応
- M&Aマッチングサイト「TRANBI」を活用した、M&Aによる事業承継支援
- 若手経営者の顧客組織「みやしんNext」を対象とした税理士等の専門家による講演会・セミナーの開催
- 相続等に関する相談対応

地方創生に向けた支援の取組み

- 地方版総合戦略の策定および戦略に掲げる具体的な施策の円滑な実施等に係る支援
- 「宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略市民推進委員会」への参画
- 地方公共団体、商工会議所、大学およびNPO法人等の地域関係者との連携
- 地方公共団体等と連携し、宮古市中心市街地活性化に向けた施策の実施
- 三陸沿岸の信用金庫と連携した顧客イベントの実施

5. 信金中央金庫による優先出資の引受けに係る事項

種類	社債型非累積的永久優先出資
申込期日(払込日)	2012年2月20日(月)
発行価額 非資本組入額	1口につき50,000円(額面金額1口500円) 1口につき25,000円
発行総額	10,000百万円
発行口数	200,000口
配当率 (発行価額に対する年配当率)	預金保険機構が当該事業年度において公表する優先配当年率としての資金調達コスト ただし、日本円TIBOR(12ヶ月物)または8%のうちいずれか低い方を上限とする。
累積条項	非累積
参加条項	非参加
残余財産の分配	<p>残余財産の分配は、定款に定める方法に従い、次に掲げる順序によりこれを行うものとする。</p> <p>イ 優先出資者に対して、優先出資の額面金額に発行済優先出資の総口数を乗じて得た額をその有する口数に応じて分配する。</p> <p>ロ 優先出資者に対して、優先出資の払込金額から額面金額を控除した金額に発行済優先出資の総口数を乗じて得た額を分配する(当該優先出資の払込金額が額面金額を超える場合に限る。)</p> <p>ハ 前イおよびロの分配を行った後、なお残余があるときは、払込済普通出資の口数に応じて按分して会員に分配する。</p> <p>ニ 残余財産の額が前イおよびロの規定により算定された優先出資者に対する分配額に満たないときは、優先出資者に対して、当該残余財産の額をその有する口数に応じて分配する。</p>